

令和7年度大原市民センター運営協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回大原市民センター運営協議会
- 2 開催日時 令和8年3月17日（火）午前10時から午前11時26分まで
- 3 開催場所 大原市民センター 1階 中会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 熊谷幸次委員、小山恵義委員、金野信代委員、千葉邦弘委員、小島誉洋委員
 - (2) 事務局 熊谷淳大原市民センター所長、千葉よしえ主査
- 5 議題
 - (1) 令和7年度大原市民センター事業の実施状況について
 - (2) 令和8年度大原市民センター運営方針等について
 - (3) その他

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

8 熊谷淳大原市民センター所長挨拶

本日は、お集まりいただき誠にありがとうございます。

また、市民センターの運営に対し、日頃からご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この市民センター運営協議会ですが、おおむね年2回開催している会議であり、市民センターの運営全般について、委員の皆さんからご意見をいただく場となっております。

本日の運営協議会の内容については、令和7年度の実績の状況報告、令和8年度の運営方針についてご意見を頂戴します。

本日は、どうぞよろしく願います。

9 議長選出

互選の結果、熊谷幸次委員が選出された。

10 審議内容

(1) 令和7年度大原市民センター事業の実施状況について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 新年交賀会を大原まちづくりの会が行うことになった経緯は何か。

事務局 大東各地区の新年交賀会の実施体制をみると、地域協働体の主催、もしくは地域協働体を中心となった実行委員会形式で行っている状況であ

る。大原地区は、長年、大原自治公民館等連合会の主催で開催してきた。地域協働体の関わりがないまま交賀会を開催していたが、地域協働体と一緒に交賀会を開催するべきという声があり、昨年度は共催、今年度は大原まちづくりの会が主催、大原自治公民館等連合会が後援という形で開催した。

委員 市民センター大ホールの利用状況はどうなっているのか。

事務局 今年度も利用率は低いものの、利用状況としては、敬老会、水かけ祭りに向けての太鼓練習、夏休み期間中に市内中学校吹奏楽部が練習で利用した。そのほか、芸術文化協会のチャリティー発表会、落語が開催された。

委員 水かけ祭り関係になるが、お風呂の老朽化により祭りの前日に水やお湯が出ない、水道管が錆びていてお湯が濁り大変だったという話を聞いたが、お風呂の使用はその時だけなのか。

事務局 お風呂は、水かけ祭りの時しか利用していない状況である。ご指摘のとおり、直前の運転だけでは不安があると感じている。今後は、定期的にボイラーを稼働し、適切に設備の管理を行う。

委員 だるま祭りのだるま製作はどうだったのか。

事務局 だるまの竹編みは神社で行ったが、その後のだるまの製作は、市民センターで行った。市民センターで製作をしたことにより、進捗状況が分かりやすかった。

委員 ボッチャを行ったとあるが、講師は誰だったのか。

事務局 当初は、大原地区内でウォーキングを行う予定だったが、天候によりウォーキングを中止した。その代替としてボッチャを行った。そのため、ウォーキング講座の講師をお願いをした。ここ数年、ウォーキング講座の講師は、一関市スポーツ推進委員に依頼をしている。

委員 自治会で、市民センターが実施している事業と同じような活動を行いたいと考えても、誰に講師をお願いしたらよいかわからない。自治会等で講師を探す際に参考になるような一覧表はないのか。

事務局 他の自治会からも同様の意見を頂戴しているが、各自治会等へ提供できる一覧表の資料はない。今後、提供できる資料があれば、紹介したいと考えている。

委員 内野体育館の令和6年度の利用が多かった理由は何なのか。

事務局 令和6年度は先陣行列があり、その練習等で利用が多かった。スポー

ツ少年団をはじめ各種団体に声を掛けているが、なかなか利用につながらない状況である。

(2) 令和8年度大原市民センター運営方針等について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 新聞記事で、市の業務でAIを活用するとあったが、各支所等へのネットワークとかはあるのか。

事務局 徐々に幅広い分野に導入されてくると思うが、現時点では、具体的な内容は示されていない。

委員 資料を見ると、他の市民センターでは「ベトナム語教室」や「男の料理教室」などいろいろ開催しているが、大原市民センターではこのような講座は開催していないのか。

事務局 以前、「英会話教室」を開催したことがある。また、市民センター事業を企画、実施後に趣味サークル団体として活動できるように支援をしている。しかし、高齢化や人口減少による団体の解散等もあり、団体支援に結び付くような事業活動ができていない。

委員 自治会の会館等は多様な年代の人が利用しているようだが、市民センターの利用状況はどうなっているのか。

事務局 市民センターは、地域の拠点施設、活動の場所となっている。利用目的等により特定の人しか利用していないように見えるが、様々な団体が2月末現在、延べ680件、合計10,891人が市民センターを利用している。引き続き、多くの皆様に地域の拠点施設、活動の場所として市民センターを利用してもらえるように努める。

(3) その他

事務局 市内各市民センターの管理状況等についてだが、市内には全部で34の市民センターがある。今まで、狐禅寺地区に地域協働体がなかったが、3月中に地域協働体が発足することになった。これで、市内全34地区に地域協働体が設置になった。なお、大原と狐禅寺以外の32の市民センターは、地域協働体が指定管理で運営をしている状況である。

委員 指定管理に移行した市民センターはスムーズな運営になっているのか。

事務局 各市民センターの施設の規模、事業内容や活動状況によって異なるが、それぞれ特色を出して運営していると認識している。

11 担当課 大原市民センター